

2022年4月4日

J Aバンク（J A・信農連・農林中央金庫）

## J Aバンクにおける「J Aバンク資産運用サービス」 （愛称：まかせるぞう）のサービスリリースについて

J Aバンク（J A・信農連・農林中央金庫（理事長：奥 <sup>おく</sup>かずと <sup>かずと</sup>和登））は、2022年4月4日より、投資一任運用サービス「J Aバンク資産運用サービス」（愛称：「まかせるぞう」）の提供を開始いたしましたのでお知らせいたします。

本サービスでは、J Aバンクの組合員・利用者の一人ひとりの資産運用にかかるご要望やライフプランに沿った人生の目標を設定・共有し、その達成に向けてお客さまに代わって資産運用の専門家が運用・管理を行うとともに、その目標達成を目指し継続的にサポートしていくゴールベースアプローチ※を採用しております。

本サービスは組合員・利用者のニーズにお応えし、その一人ひとりの人生に“寄り添う”もので、J Aバンクとして本サービスを通じて組合員・利用者の資産形成のお役に立つことを目指していきます。

なお本サービスについては、投資信託を取り扱う全国J Aバンクにおいて、順次提供を開始・拡大していく予定です。

サービスの概要は以下のとおりとなります。

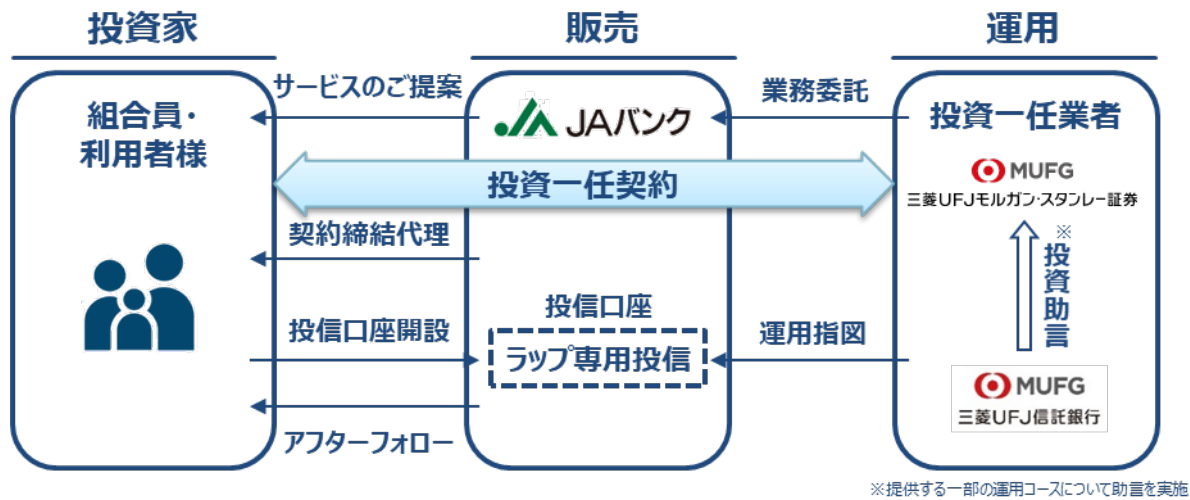
### 1. サービスの名称

- ・ J Aバンク資産運用サービス（愛称：「まかせるぞう」）

### 2. サービスのスキーム

- ・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（以下「MUMSS」）、三菱UFJ信託銀行株式会社（以下「MUTB」）と業務提携した投資一任運用サービス（ファンドラップサービス）となります。
- ・ J Aバンクは、MUMSSの代理業者として、MUMSSを運用者とするファンドラップサービスをJ Aバンクの組合員・利用者に提供します。農林中央金庫は、ファンドラップサービスのJ Aバンクでの円滑な導入・提供に向けてMUMSSおよびMUTBと連携してまいります。
- ・ MUTBは、機関投資家として企業年金運用業務などで培ってきたノウハウを活用し、MUMSSが提供する運用コースの一部について、短期的な相場下落の影響を抑制しつつ、中長期的な資産形成を目指す投資助言を行います。

<スキーム図>



3. サービスの特徴

- ・ ゴールベースアプローチにもとづく資産運用サービスをご提供いたします。JAバンクの担当者は組合員・利用者に対して、目標（ゴール）の設定、運用コースの選択をサポートし、運用状況のレビュー（半年ごとのアフターフォロー）を行います。
- ・ MUMSSおよびMUTBの運用ノウハウを活用したリスク・リターンの異なる6つのコースをご用意し、組合員・利用者の目標達成に向けて最適なコースをご選択いただけます。なお、コース変更については年4回まで手数料なしで可能です。
- ・ オプションサービスとして、エントリー分散（契約金額を4回に分けて投資信託を買付）、定時定率払戻（奇数月に運用資産の一部を払戻）を手数料なしで付加できます。

※ お客さまやその家族の人生の夢・目標（ゴール）・課題の達成に向けて、資産を運用し、進捗管理していく手法

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部広報財務IR班 03-6362-7172